

# 少しずつ 自由になるために踊る 舞踏家 岩下 徹と共に

国際的に活動している  
山海塾の舞踏手・岩下徹のソロ活動  
観客の前に身体ひとつで立つ「即興ダンス」は  
唯一無二の珠玉のパフォーマンスだ。  
強さとしなやかさを持ち  
静かなオーラを放ち、観る者を虜にする。

踊りは本来形からくるものではなく

自分の身体が動いてしまう衝動

自分から表出する何か

自分を解き放つ何かなのではないだろうか。

誰もが踊る時代、今だからこそ

改めて即興ダンスを考え

自分自身の踊りに挑戦してみたい。

意味を伝えるのでなく

身体そのものが伝えるダンスは

純粹で真実である。

自分と向き合い、誠実に

感性を研ぎすまして踊ると

見えてくるものがある。

岩下氏にとってダンスは

夢の世界に旅することでも

非現実の世界をクリエイイトするものでもなく

むしろ現実が存在することで

「幻影(イドラ)を脱ぎ捨て

自らを白日の下に曝すこと

そして観客の前に身体ひとつで立つこと

これ以上でもこれ以下でもない

文字通り、等身大(Life size)だ。

これが私のダンスです。」と言う。

何よりも「いま・ここ」へ個の身体が

本当に感じることを大切にして踊るから

踊りに魂が宿る。

ダンスの原点がここにある。

2018.2/17 [土]

9時50分～17時00分 (9時20分より受付)

日本大学藝術学部江古田校舎

(北棟第5実習室、北棟第6実習室、小ホール)

西武池袋線各駅停車にて江古田駅下車、北口より徒歩1分

◎ワークショップとデモンストレーション

「少しずつ自由になるために踊る」 岩下 徹

◎帰朝報告

◎シンポジウム

「舞踊の原点—身体の気付き、感覚からの始まり  
—教育医療の現場での可能性」

岩下 徹 稲田奈緒美 藤崎周平 加藤みや子

◎参加者によるグループワークのデモンストレーション

ある時あなたにとってダンスとは何ですかと尋ねられたことがありました。その時私はダンスとは少しずつ自由になっていくことだと答えました。私自身そうだったからです。このことを知るまでに何年もかかってしまいました。しかしこれは誰かから教わったものではありません。私は小さい時から不器用でまともなことはほとんどできませんでした。今でもたいして変わりはありません。ただ踊ることでのみかろうじて世界とつながっていられるのです。こんな私ですから技術的にむずかしいことはとてもできません。ただ本当に感じられることをゆっくりと丁寧にやっていきたいのです。わずかでけっこうです。少しずつ自由になるためのきっかけをつかんでいただければ幸いです。

岩下 徹



岩下 徹 いわした・とおる(舞踊家)

国際的な舞踏集団<山海塾>ダンサー。ソロ活動では<交感(コミュニケーション)としての即興ダンス>の可能性を追求。1957年東京生まれ。82~85年石井満隆ダンスワークショップで即興を学び、83年ソロ活動開始。かつて精神的危機から自分のからだを再確認することで立ち直ったという経験を原点とするソロダンスは、等身大のからだひとつで立つことから始まり、場との交感から生まれる即興として踊られる。代表作に、「放下」、「みみをすます」、音楽家との即興セッション等。1989年より滋賀県/湖南病院(精神科)で医療の専門スタッフと共にダンスセラピーの試みを継続実施中。日本ダンスセラピー協会顧問。桜美林大学、神戸大学、滋賀県立総合保健専門学校非常勤講師。http://www.iwashitatoru.com/

10:00~12:20 北棟第6実習室

ワークショップとデモンストレーション

## 少しずつ自由になるために踊る 講師:岩下 徹

12:20~13:00 北棟第6実習室

帰朝報告 報告者:松本直子 池上直子

14:00~15:30 北棟第5実習室

シンポジウム

## 舞踊の原点—身体の気付き、感覚からの始まり— —教育医療の現場での可能性

講師:岩下 徹 稲田奈緒美 藤崎周平 加藤みや子

15:30~16:45 小ホール

参加者によるグループワークのデモンストレーション

# 2018. 2/17 [土]

9時50分~17時00分 (9時20分より受付)

日本大学芸術学部江古田校舎 (北棟第5実習室、北棟第6実習室、小ホール)

参加費…一般 4000円 協会員 3500円 学生3000円 学生協会員 2500円

定員70名 (定員になり次第メ切) 受講料は当日お支払い下さい。 (日大生に特典あり)

主催: (一社) 現代舞踊協会 協賛: 日本大学芸術学部演劇学科

企画・制作: 研究企画部 (正田千鶴、加藤みや子、中村しんじ)

／馬場ひかり、藤井 香、時田ひとし) 協力: 范 旅、松永雅彦

### ●申込方法

現代舞踊協会

検索

Webからのお申し込みは、現代舞踊協会ホームページ内

「一日舞踊大学講座」の申込フォームより送信ください。

FAX 03-5457-7732

FAXからのお申し込みは、下記申込用紙に全項目を

読みやすい文字で明記の上、左記FAX番号へ送信ください。

●申込締切 2月5日 (月)

●お問い合わせ (一社) 現代舞踊協会事務局 TEL.03-5457-7731

〒150-0021 渋谷区恵比寿西1-21-3 グレイス代官山402号



稲田奈緒美 (舞踊研究・評論家)

幼少よりバレエを習い始め、様々なジャンルのダンスを経験する。早稲田大学第一文学部卒業後、社会人を経て、早稲田大学大学院文学研究科修士課程、後期博士課程に進む。博士(文学)。現在はバレエ、コンテンポラリーダンス、舞踏、コミュニティダンス、アートマネジメント、文化政策などダンスを中心に理論と実践を結びつけた研究、評論、教育活動に携わっている。



藤崎周平 (日本大学芸術学部教授)

1980年日本大学芸術学部演劇学科卒業。主に俳優教育に携る。東京演劇大学連盟(桜美林・玉川・多摩美術・桐朋学園芸術短期・日本)の設立(2013年)にかかわり、また、大学における俳優教育のスタンダードづくりを志して、2016年から連盟の中に演技システム研究会を立ち上げた。著書に「演技の基礎のキソ」がある。日本演劇学会理事。日本大学芸術学部演劇学科主任。



加藤みや子 (舞踊家)

加藤みや子ダンススペース主宰。森嘉子、藤井公、利子に師事。仏・パニョレコンテ、伯・巡回公演(国際交流基金主催事業)、米・フェスティバル巡演等に招聘され高く評価される。83年よりアネックス仙川ファクトリーを拠点に各地で五感を開くワークショップやアーティスト交流の場、HHWを開催。現代舞踊協会常務理事。日本大学芸術学部非常勤講師。



松本直子 (舞踊家)

金井美三枝・坂本秀子に師事。坂本秀子舞踊団所属。日本大学芸術学部演劇学科洋舞コース卒業。ヨコハマ・コンペティション第1位、こうべ全国洋舞コンクール創作部門最優秀賞、(一社)現代舞踊協会制定 奨励賞 など受賞。平成18年度文化庁新進芸術家海外派遣研修員として、1年間フランス・パリにて研修。自身でも作品を発表するほか、様々な振付家の作品に出演。



池上直子 (ダンサー・振付家・講師)

ダンスマルシェ/ダンスキッチン主宰。幼少よりモダンダンスを本間祥公、クラシックバレエを高木俊徳に師事。日本大学芸術学部演劇学科洋舞コース卒業。国内外の作品に出演しながら、2010年ダンスマルシェを立揚げ作品を発表。16年文化庁新進芸術家制度の特別研修員としてドイツ・レーゲンスブルク歌劇場ダンスカンパニー研修。17年ドイツ・レーゲンスブルク歌劇場芸術監督・森優貴振付のふたり舞台「Macbethマクベス」に出演。

## 一日舞踊大学講座申込書

\*協会員で「舞踊指導者認定」申込の方は右に○をして下さい。 認定申込

\*ダンスプラン出演者の方は右に○をして下さい。 ダンスプラン出演者

フリガナ

氏名

住所 〒

所属研究所/舞踊団

(○をお付け下さい)

一般/協会員/学生・高校生/学生・高校生協会員

TEL

FAX

E-mail

\*携帯でも可ですが、諸連絡の都合上、できるだけパソコンのアドレスをご記入下さい。